

平成27年度浦高同窓会総会!

●全員参加の「おもてなしの会」その1

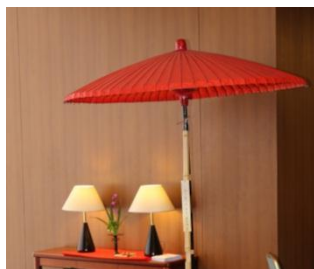
5月24日(日)は、平成27年度浦和高校同窓会・総会でした。浦高同窓会では、その前年度に60歳(還暦)を迎えた学年が幹事となり同窓会の運営を行う慣習になっており、今回は私たち昭和48年3月卒業生(高校25回生)がその任に当たりました。

私たちは、同窓会のテーマを「来てよかった、また来年来ようと思ってもらえるような“おもてなしの会」と決め、同窓会全体をどのように盛り上げたら良いかと、2年間10回にわたり世話人会・企画会議と称した飲み会でワイワイと検討してきました。そして、こだわりは「和」としました。そんな「和」の彩りをふんだんに盛り込んだ25回生たちの演出をご紹介しますながら、総会・講演会・懇親会の日を振り返ってみたいと思います。

午前10時30分、私が浦和ロイヤルパインズホテル4階ホールに到着すると、既に前事務局長の鯨井光夫さん(高19)がお越しになっていました。早速、通路に立礼式〔りゅうれいしき、椅子に腰掛けて行う手前(茶をたてる手法)をいう。裏千家11世家元玄々斎千宗室宗匠が創案したもの〕用の「末広棚」と「野点傘」を設え、棚に花と香合を飾り付けると茶席の空間が出来上がりました。



〔立礼席に座って、お手伝いの皆さんと〕



〔野点傘も設置して〕



12時を過ぎて同期生や茶席をお手伝いいただける着物姿の女性達(同期の三宅隆史さんの知人と教え子)が到着し、会場が華やかになってきました。予定では200人分を点てることになっています。



〔着物姿の女性達〕



〔同期生に一服〕

12時40分、同期生による打合せです。幹事代表の藤江昌嗣さんから「2年間にわたる準備の成果を出す機会が来ました。今日一日、楽しくおもてなしをしたいと思います。」とのご挨拶。引き続き、各パートの責任者が紹介され、各パートでの打合せ、各自がそれぞれの持ち場で味を出してくれました。



〔同期での打合せ〕



〔受付風景〕

13時を過ぎて、同窓生の方々が集まりはじめ、お茶出しも忙しくなっていました。約1時間強で160杯を出したところで総会が始まりました。

14時スタートの総会では、4月から事務局長になった藤野龍宏さん(高22)が進行役となり、開会のご挨拶として川野幸夫会長(高13)からは「母校浦高のプレゼンスが高まる中で、私たち同窓会も新しい役割、新しい形での運営が求められています。そこで、昨年度“同窓会あり方検討委員会”を設置して会則の変更等について真剣に議論を重ねてまいりました。本日はその改正案も議題として提出いたしますので、ぜひ皆様のご承認をいただきたい。」とのご挨拶が、顧問の杉山剛士浦和高校校長からは浦高の現状や一昨年大きな怪我をしたラグビー部の後藤君の回復・進学状況などが報告されました。



〔挨拶される川野会長〕



〔挨拶される杉山校長〕

総会議事は3つ。第1号議案「平成26年度事業報告案及び決算案」、第2号議案「平成27年度事業計画案及び予算案」、第3号議案「同窓会会則改正案」については丁寧な説明が行われ慎重な審議のうえ、すべて承認いただくことができました。

続いて報告事項も3つで、「創立百二十周年記念事業」「麗和会館資料展示室のリニューアル」「海外研修生派遣事業(SGH)参加生徒からの報告」でした。



〔報告を行う現役浦高生達〕

全ての議事を終え、高校4回卒業生(代表:星野和央さん)から奨学財団への寄付が行われ、約1時間10分で総会は終了しました。 <つづく>